

【建コン協近畿支部が研究発表会 最優秀に西浦氏 (オリエンタルコンサルタンツ)

技術力向上し活動アピール】

### 建コン協近畿支部が研究発表会

## 最優秀に西浦氏(オリエンタル) コンサルタンツ 技術力向上し活動アピール



兼塚支部長

建設コンサルタンツ協会近畿支部(兼塚卓也支部長)は18日、大阪市西区の大阪科学技術センターで第47回研究発表会を開いた。一般発表36編、若手技術者によるプレゼンテーション発表32編、学生発表6編の計74編を発表、最優秀賞はオリエンタルコンサルタンツの西浦清貴氏による「非排水構造を用いた山岳トンネルでの漏水対策」が受賞したほか、優秀賞7編、奨励賞10編が選ばれた。約500人が参加した。



受賞者らで記念撮影

会は業界の技術力の向上とともに、その広報も目的。品確法の施行で法律にも明記され、技術力が重視されている。われわれの活動をうまくアピールし、地位向上と担い手の確保につなげたい。自然災害が多発し、国土強靱化や防災減災などわれわれの技術力が求められている。今回の発表会がそれに寄与することを願っている」とあいさつした。

研究発表のほか、安藤佑治近畿地方整備局企画部技術調整管理官が建設コンサルタンツをめぐり、森栗茂一阪大教授が「みち活用、維持における専門家のファシリテーション能力について」をテーマにそれぞれ特別講演した。

すべての発表を終え、久後雅治近畿支部技術部会長は「一般発表は多面的に検討され、建設コンサル業界を取り巻く課題に対応したテーマが多かった。プレゼンテーション・学生発表はメリハリのある内容だった。一方で質問が少ないなどの課題もあった。発表に慣れている人と慣れていない人の差も感じた」と講評した。

表彰の後、受賞者を代表し、最優秀賞の西浦氏は「今回の発表は学識経験者など多数の協力があったことと感謝している。他のトンネルにも発展できる技術であり、引き続き優秀賞と奨励賞の発表者と内容は次のとおり(敬称略)。

- 優秀賞
  - ▽プレゼンテーション
    - ▽ライフアシストコンクリートにおける壁と中性化の複合劣化機構に関する検討(河田泰吉(日建技術コンサルタンツ)▽岐阜福井県 冠山峠付近に分布する山体重力変形地形と岩相・地質構造との関連を免震過程(丹羽良太(協和設計)▽地方都市中心部に於ける低水利用地の土地利用転換に関する研究(阿部正太郎(建設技術研究所)▽豊岡盆地に現存する伊賀はねの治水効果に関する研究(神戸大学大学院))
- 奨励賞
  - ▽プレゼンテーション
    - ▽法面土の設計及び検討事項(細江勇介(協和設計)▽日本およびニュージーランドの火山灰土における積水性特性の評価(豊田卓也(建設技術研究所)▽道の類似性に着目した生活道路の事故リスクの推定方法に関する研究(大角和輝(土木復建コンサルタンツ)▽沿岸部での水害における被災危険度の分析(前川栄弥(ニュージェック))
- 一般発表
  - ▽鉄道営業線R180の急曲線交差する踏道道路の設計(中江小百合(全日本コンサルタンツ)▽新たな透過型防せん堤の設計手法に関する提案(原田昭臣(井筒建設コンサルタンツ)▽特別天然記念物オオサンショウウオの生息に配慮した河川掘削(山下博康(ウエスコ)▽大雨時を対象としたシナリオ型ハイドロマップ作成の事例紹介(中津好徳(ハスコ))
  - ▽学生発表
    - ▽買い物弱者の買い物支援策に対する潜在需要量に関する基礎的分野(大隈ゆき(和歌山工業専門学校)▽現地観測データをを用いた二次元広域地下水流動解析結果の検証に関する研究(日清民(神戸大学大学院))